



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4222 号 2018.2.20 発行

乳幼児もストレス！？ 保育園預けはじめに注意

NHKニュース 2018年2月19日



4月から復職に向けて準備を進めている人たちのもとに、認可保育園の入園可否の通知が届く時期ですね。「認可落ちた！このままでは春から復職できない！」「どこでもよいから子どもを預かってくれる園を探さなきゃ！」インターネット上には、預け先が見つからずに焦る声があふれています。

こうした中、気になるデータがあるのをご存じでしょうか？ 保育

施設の預けはじめの時期に、乳幼児の「突然死」が多く起きているというのです。(ネットワーク報道部記者 角田舞 野田綾 玉木香代子)

慣らし保育は自治体・施設によりまちまち

子どもが保育園に通いはじめる際、多くの園では最初に「慣らし保育」の期間を設けています。

例えば、記者が子どもを預けた川崎市の保育園では、初日は親子同伴で登園。そして昼食まで体験、昼食後のお昼寝まで体験、午後のおやつまで体験と徐々に慣らししていき、3週間目に初めて、夕方まで預かってもらうことができました。



同じ保育園に子どもを通わせる保護者の間では「慣らし保育の期間が長すぎる」という声が上がっていました。

「4月のあたまから復職しているので、慣らし保育の期間は半休や有給で対応しないといけないので困る」とか、「早く職場に戻らないと肩身が狭い」など声はさまざまでしたが、慣らし保育をすぐに終わらせたい親が多かったように思います。

この「慣らし保育」、実は自治体や施設

によって対応はまちまちです。いくつかの保育園に聞いてみたところ、「1週間程度は必要ですので仕事は休んでください」という園もあれば、「2～3日で慣らしを終えて、夕方まで預かる子もいます」というところもありました。

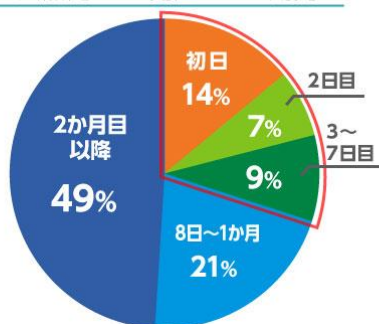
東京・品川区は、保護者が希望すれば慣らし保育を行うものの、基本的には職場復帰の支援のため「入園当初から、夕方まで預かり可能」としています。

預けはじめ1週間で「突然死」が多い

しかし、気になるデータがあるのをご存じでしょうか。保育施設で預かり中の乳幼児の「突然死」が、預けはじめの時期に起きているケースが多いというのです。

内閣府のまとめでは、保育施設に預けられた乳幼児が睡眠中などに突然死亡する「突然死」はおととしまでの10年間に146件報告されています。

突然死 登園開始からの期間



このうち事故などのケースを除く43件を、多摩北部医療センター小児科の小保内俊雅部長らの研究グループが分析しました。その結果、全体の30%が預けはじめから1週間以内のごく初期に起きていて、1か月以内に起きた突然死は全体の半数に上っていたのです。

研究グループでは、この預けはじめの突然死について、新たな環境への適応困難が要因になっている可能性を指摘しています。

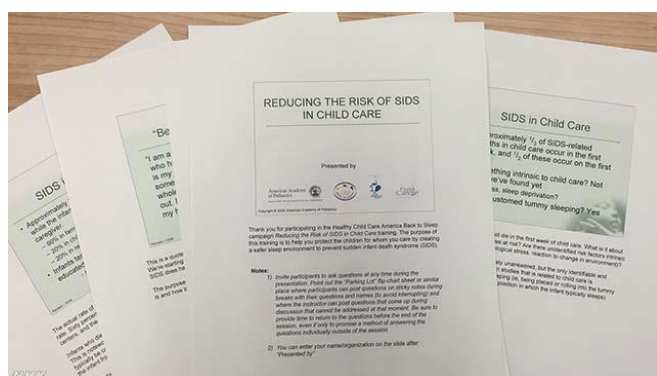
小保内部長は「子どもは成長とともに新しい環境に順応する力をつけていくが、その経験が少ない3歳未満の子どもにとっては、保護者から離れて一人で保育園に入ることが、想像以上の大きなストレスになっていると考えられる。突然死の半数が起きている預けはじめの1か月については、特に注意が必要だ」と話しています。

アメリカでも同様の報告が

乳幼児の預けはじめの時期の突然死の危険性は、アメリカの研究でも報告されています。アメリカ小児科学会の2008年の報告によりますと、親以外の保育の環境下で起きた乳幼児の予期せぬ突然死のうちおよそ3分の1は1週間以内に発生しています。

さらにそのうちの半分は、預けはじめた初日に起きていることがわかっています。アメリカでの研究ではなぜ預けはじめの時期に突然死が起きやすいか、理由ははっきりしないとしていますが、慣れないうつぶせ寝などが少なからず影響しているという事です。

乳幼児の突然死を研究している小保内部長は「新しい環境でのストレスと突然死については、各国の研究を見ても国際的に同じ傾向が出ている。また日本では、欧米よりも預かり時間が長く昼寝を挟むため、1～2歳児でも突然死が高頻度で起きており、注意が必要だ。保護者の職場の状況によっては早い復職を求められるケースもあるかもしれないが、危険性



が高いことが分かってきた以上は、保育園での初期の預け方、預かり方を社会で考えていく必要がある」と警鐘を鳴らしています。

丁寧な慣らし保育 工夫する保育園も

こうした中、子どもができるだけストレスなく保育園での生活に慣れるようにと、工夫を

している保育園があります。



に変えました。

その結果、入園したばかりでも泣いている子が少なくなり、見学に訪れた保育園の関係者からも「園児たちが穏やかな表情で過ごしている」と評判だということです。



セのある子は「仰向け姿勢」で寝られるよう練習しておく。

(2) たばこの煙も突然死のリスクを高める。家族は禁煙など子どもが煙を吸わない対策

奈良県王寺町にある認可園「片岡の里保育園」です。

こちらの保育園では、乳幼児を新たに受け入れる際には、保護者に協力してもらい、職場復帰の1か月ほど前から慣らし保育を始めます。預かり時間を2時間から半日、1日と少しずつ伸ばしていきますが、特に最初の2週間は、乳幼児一人一人にそれぞれ担当の保育士をつけて、マンツーマンで見ると

うにしています。なぜこの取り組みを始めたのか。水野ゆか園長によりますと、以前は新しい乳幼児が集団に入ると、ほかの在園児まで大泣きしたり、保育士を取り合ったりと、精神的に不安定になっていたそうです。

そこで、新しく入った子どもにもスムーズに新しい環境に適応してもらおうと、食事や睡眠、排せつなどを同じ保育士にきめ細かくみてもらう仕組み

丁寧なマンツーマンの慣らし保育を始めて7年。水野園長は「保育園に入園したばかりの乳幼児にとって、入園して間もない慣らし保育の環境こそ大切」と実感していると言います。

「突然死や事故を防ぎ、子どもがストレスなく保育園生活を始められるよう、今後も慣らし保育を丁寧に行っていきたい」と話していました。

**片岡の里保育園 水野ゆか園長
保護者が気をつけることは**

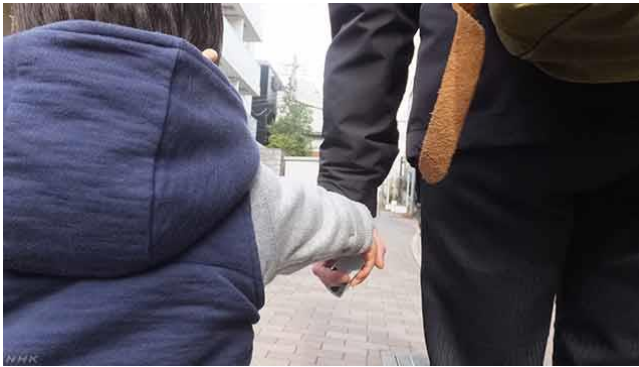
突然死を防ぐための研修などを行う「保育中の突然死予防研修推進会」事務局の中村徳子さんに、保護者としてどんなことに気をつけたらよいか聞きました。

中村さんは、突然死につながる可能性があるリスクを可能な限り排除することが大事だと指摘しています。

(1)「うつぶせ寝」の睡眠は突然死のリスクが高まる。うつぶせで寝るク

を。

- (3) 慣らし保育はできるだけ丁寧に。いつでも迎えに行ける状態で余裕を持って慣らす。
- (4) 体調がすぐれない時にも突然死は起きやすい。微熱や鼻水がある、食欲がないなど



小さなことでも、子どもの体調でふだんと違う気になることがあれば、保育士に伝える。

中村さんは「育休を終えた仕事復帰の当初は、子育てと仕事を両立しなければと、親も余裕が無くなりがちです。しかし保育の預けはじめの時期は子どもにとって、命にも関わる大きなストレスがかかっています。まわりの保護者や保育園だけでなく、復職先の会社や社会全体が、『保育の預けはじめはリスクの高い時期だ』と認識して、入園した親子が慣れるまで、見守ることができる社会を作っていかなければならない」と話しています。

会社とも情報共有を

仕事をしながら子育てをする中で、子どもの体調を最優先に行動できないこともあるかも知れません。微熱や鼻水程度の「ちょっとかぜ気味」の時や大事な予定がある日などは「仕事を休めないので保育園に預けよう」なんて

経験が誰しもあると思います。しかし預けはじめにリスクがあることが分かり始めたいま、4月からの復職では、会社ともこうした情報を共有して理解を促し、親子とも無理のない新生活を始めたいものです。

「母さんが間違っていた」拒む娘に母は泣いた 不妊手術 芳垣文子 田中陽子

朝日新聞 2018年2月19日



「札幌いちご会」理事長の小山内美智子さん＝札幌市西区「産む権利」の侵害は、どこまで広がっていたのか――。知的障害などを理由に、不妊手術を強制された人が全国最多とされる北海道が19日、関連資料を公表した。「まだ表に出ていない手術がある」「一人でも多くの救済を」。望まぬ処置を迫られた女性たちは訴える。



札幌市の小山内（おさない）美智子さん（64）は、10代だった1970年ごろ、不妊手術を受けさせられそうになった経験を持つ。脳性まひで体に障害があり、いまは、札幌市で障害者の自立支援活動に携わるNPO法人「札幌いちご会」理事長を務めている。

「生理が来ないように子宮を取る手術に行こうね」

ある日、母親に言われ、出かけることになった。だが、痛いわけでもないのになぜおなかを切らなければならないのか……。疑問も感じていた。

認知症の診察結果、警察が提供要請 福岡の病院へ 高齢者事故防止に向けた協力を求め、固く握手を交わす尾上芳信署長（左）と寺坂禮治院長＝福岡市南区

朝日新聞 2018年2月20日

高齢運転者による事故を抑止しようと、南署は19日、運転免許証を持ちながら認知症などと診断された患者の診察結果を警察に提供するよう、福岡赤十字病院（福岡市南区）に協力を要請した。



道路交通法の改正で、医師が警察に診察結果を届けることは守秘義務に違反しないとされた。病院側は患者本人だけでなく、極力、家族の同意を得て診察結果を提供する。届け出を受けた警察は、患者に専門医による臨時適性検査を受けてもらい、免許停止や取り消しを判断するという。

警察庁のまとめによると、昨年1年間に死亡事故を起こした75歳以上のドライバーの2人に1人が認知症や認知機能低下の恐れがあると判定された。

県警によると、県内で昨年発生した交通事故のうち、高齢運転者が主原因の事故は約2割と過去最高に達した。

福岡赤十字病院の寺坂禮治院長（67）は「認知症に関わる交通事故の防止に少しでも役に立てば」と話した。南署の尾上芳信署長は「増加する高齢者の事故を防ぐには、医療機関との連携も必要。今回の協力強化が抑止のきっかけになって欲しい」。（中西皇光）

危険な「眠剤ハイ」若者に広がる 路上で睡眠薬大量購入

渡辺元史、吉村治彦

138 番組の途中でですがアフィリエイトへの転載は禁止です() 2017/08/04(金)
18:54:26.13 ID:

あんなにラリるのになんで普通に処方されるんだろな
ラリることなんて何も聞かされなかったし
合法ドラッグ感覚で 飲んでたわ

139 番組の途中でですがアフィリエイトへの転載は禁止です() 2017/08/04(金)
19:01:43.49 ID:

はめちゃくちゃラリる人とまったくラリらない人いるからな
ラリると異常行動はかなり多い
俺は悪夢が酷かったわ人を殺したり埋めたり

朝日新聞 2018年2月20日
睡眠薬の乱用行為についての書き込みのあるインターネットのサイト

睡眠薬を使って気分を高揚させる乱用行為が起きている。若者の間では「眠剤ハイ」などと呼ばれ、昨年7月には大阪府内で錠剤を服用後に交通事故を起こして逮

捕された少年が、「ハイになるために睡眠薬を飲んだ」と供述した。専門家は、依存症や発作などの危険性を指摘する。

意識もうろうと…事故

昨年7月14日未明、堺市東区の市道脇のフェンスに乗用車が突っ込んだ。当時運転していたのは通信制高校3年の少年（18）。助手席に建設作業員の少年（19）が乗っていた。高校生の家族が駆けつけて車の中をのぞくと、少年2人が意識がもうろうとした状態でぐったりしていたという。

2人は大阪府警の調べに対し、大阪市浪速区の路上で、本来は医師の処方が必要な睡眠薬140錠を「密売人」から約1万1千円で購入したと説明。高校生は建設作業員の少年から、睡眠薬を飲んで眠気を我慢すれば気分が高揚すると聞いたといい、「ハイになるために何度かに分けて数錠ずつ飲んだ。バイト先の人間関係でむしゃくしゃしていた」と話し、堺市内に戻る途中で意識がもうろうとして事故を起こしたという。

府警は、睡眠薬の影響で正常な運転ができない状態だったとして、高校生を道路交通法

違反（過労運転等の禁止）の容疑で逮捕。また、建設作業員の少年についても薬を渡したとして、同幫助（ほうじょ）の疑いで書類送検した。

少年らが睡眠薬を手に入れた浪速区のＪＲ新今宮駅の近くには、かつて覚醒剤などの薬物の密売が多かったとされる地区がある。現在は密売は大幅に減ったとみられるという。一方、管轄する署の幹部は「最近はこの地区の路上で睡眠薬を販売しているとの情報もあるが、移動を繰り返しているとみられ実態がつかみづらい」と話す。

横浜市障害者通所施設で1794万円の不明金 前代表理事が1人で会計処理

産経新聞 2018年2月20日

横浜市港南区で障害者通所施設を4カ所運営する一般社団法人「みのりの里」（中村俊規代表理事）は、全施設で計1794万7371円の不明金があることが判明したと発表した。平成28年3月から29年12月にかけて、40代の前代表理事によって法人の会計規則に基づかない不適切な現金支出や入金処理が行われたという。

事情聴取に対して前代表理事は「私的流用はしていない」と説明しているが、領収書などが確認できておらず、引き続き調査する方針。

今回の事案は、29年11月9、10日に市社会福祉協議会（市社協）による定期監査で、未精算の小口現金や預金口座への入金処理がされていない通所者負担金などの不明金が計約850万円あることが判明して発覚。その後、2月10日に不明金の総額が判明した。24年2月の同法人発足時から前代表理事が1人で会計処理を行っていたという。

市からは29年度補助金として4施設合計で約9178万円が交付されている。

大阪・箕面市教委、4歳男児虐待死受け虐待防止へ新組織 専門職11人が対応「二度と起こさぬ」

産経新聞 2018年2月20日

大阪府箕面市で昨年12月、4歳男児が死亡し、母親らが傷害致死罪で起訴された事件を受け、同市教育委員会は社会福祉士や保育士、保健師、教諭、精神保健福祉士ら専門職11人を入れた計14人による新組織を新年度に創設する。専門職を任用する10月頃から本格的な活動を始め、児童虐待などについて専門的な相談に応じる。

新組織は仮称「児童相談支援センター」。児童虐待はこれまで市教委の男女協働・家庭支援室の職員7人があたってきたが、専門職は保育士2人だけだった。4月からは同支援室を廃止し、新組織が対応。府の児童相談所とともに、市レベルでも児童虐待防止に積極的に取り組む。

新組織はセンター長に副部長級、副所長に室長級をあてるほか、専門職11人を「子ども家庭総合支援員」（特別職非常勤職員）として任用。保護や支援が必要な家庭への対応を強化する。このほか、行政職を一人配置する。

国が児童虐待などの支援拠点を市町村に設けるために、昨年4月から補助制度を創設しており、箕面市教委も制度を活用し、専門職の人件費の半分を国庫補助でまかなう。関連予算5110万円を当初予算案に計上した。

一方、児童虐待について実務者が話し合う会議に、近く弁護士や学識経験者、新組織のセンター長を新たに加える。

倉田哲郎市長は「今回の虐待事件を防げなかったのは悔しくてならない。二度とこういう事態を起こさないために考えた」と説明した。

神戸市10年以上算定ミス 高齢障害者対象の支給費 神戸新聞 2018年2月19日

神戸市は19日、障害者支援施設に入所する高齢障害者らの生活費を軽減するために支給する「補足給付費」について、システムの設定を誤り、10年以上給付額を多く算定し、

計約3600万円の過払いがあった、と発表した。低所得の障害者が対象のため、過払い分の返還は求めないという。

市によると、算定誤りがあったのは、2007年4月～17年12月、市内外の74施設を利用する65歳以上の340人に対し、1人当たり66～25万9千円の計約3523万円が過払いとなっていた。ほかに18、19歳の4人に対しても計約62万円の過払いがあった。

神戸市役所＝神戸市中央区

07年4月に制度が変更された際、市の担当者からシステム設計を委託した事業者に算定方法の変更が伝わっていなかったとみられる。通常はシステムで自動的に支給額を計算するが、支給を担当する市精神保健福祉センターの担当者が16年11月に手計算したところ、誤りに気付いたという。

システムを点検後、過払いの全容が把握できた17年夏以降、給付額を修正した。市障害者支援課は「低所得者に対する支援制度のため、返還は求めない」としている。(若林幹夫)



誤嚥で寝たきり、施設に1960万円の賠償命令 熊本地裁

産経新聞 2018年2月19日

熊本県御船町の介護老人福祉施設「グリーンヒルみふね」で平成26年、入所者の女性が食事中の誤嚥による低酸素脳症で寝たきりになったのは、施設が適切に介助しなかったからだとして、女性と家族が施設側に計約3230万円の損害賠償を求めた訴訟で、熊本地裁は19日、施設側に約1960万円の支払いを命じる判決を言い渡した。

小野寺優子裁判長は判決理由で「しゃっくりをしている間は食事を停止する必要があったのに、すまし汁などの提供を続けた。誤嚥を引き起こす危険の大きい不適切な介助。女性の精神的苦痛は甚大」とした。

判決によると、女性は現在80代。26年11月、施設で夕食中にしゃっくりが出ていたが、職員の介助で食事を継続。その後、食事が気管に入って心肺停止になり、搬送先の病院で低酸素脳症と診断された。

施設側の弁護士は「判決内容を確認し、対応を考える」としている。

虐待など受けた子どもで暮らすの？ 自治体が保護し育てる

読売新聞 2018年2月20日

虐待など受けた子 どこで暮らすの？

Q 親と暮らせない子どもがいるんだってね。

A 日本には約3万6000人いるよ。親がいない子、親が病気や貧困で育てられない子だけでなく、親から虐待を受けて引き離された子も多い。こうした子どもは、国や自治体が保護し、18歳になるまで親の代わりに育てることになっている。これを「社会的養護」と呼ぶんだ。

Q 保護された子どもたちはどこで生活するの？

A 大きく分けて施設と家庭がある。施設には、主に0歳の乳児のための「乳児院」と、主に1～18歳の児童のための「児童養護施設」がある。保育士などの資格を持つ職員がいて、子どもたちの世話をする。乳児院では約2800人、児童養護施設では約2万6500人が生活している。

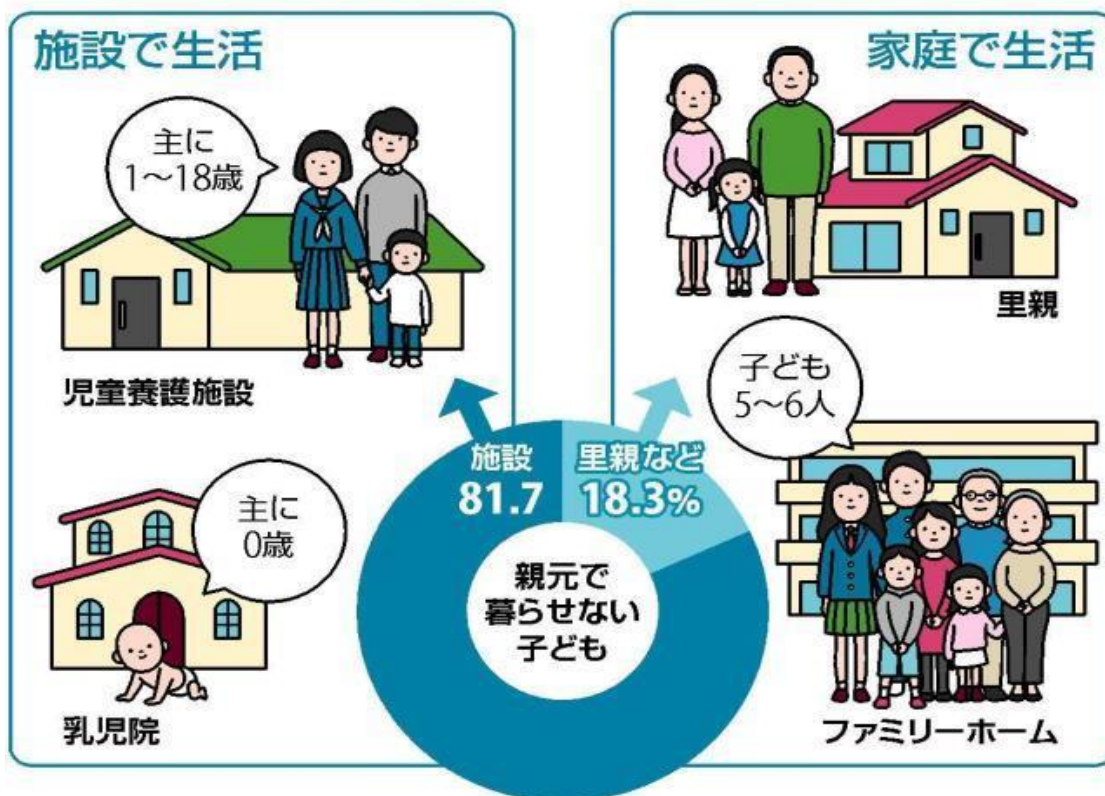
一方、家庭には、「里親」と「ファミリーホーム」がある。里親は、自治体の研修を受けた人になり、一定期間、一緒に生活をする。法律上の親子関係はなく、里親には国や自治

体から、養育手当や子どもの食費、教育費などが支給される。

Q ファミリーホームって何？

A 里親の大家族版だよ。里親が原則、4人までの子どもを育てるのに対し、ファミリーホームは、6人まで養育できる。里親や施設職員経験者が始めるケースが多い。里親とファミリーホームで、計約6500人の子どもが暮らしている。養親と戸籍上も親子になる「特別養子縁組」を結ぶケースも、年間500件前後ある。

虐待などで保護された子どもの多くは施設で暮らす



Q 施設で暮らす子どもの方が多いわね。

A 約8割は施設で、家庭は2割に満たない。施設での養育を中心にし、里親のなり手を積極的に増やしてこなかったことなどが理由だ。これに対し、欧米は里親の方が多い。様々な研究で、特に乳幼児は施設より家庭で、特定の大人と1対1の関係を築くことが発達に重要だとわかったことなどが背景にある。

日本も一昨年、児童福祉法を改正し、社会的養護は里親など家庭での養育を原則にした。今後は、里親をどう増やしていくかが課題だね。(樋口郁子)

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行